

〈熊本支部例会事前抄録〉

日時：2022年8月23日（火）19：30～

会場：添島歯科クリニック研修室

— 一般講演抄録 1 —

キャストパーシャルを用いて咬合再構成を行なった 1 症例

みやざき歯科クリニック 宮崎康弘 〒861-4112 熊本市南区白藤 3-2-100

■抄録

欠損補綴治療の方法として、ブリッジ、インプラント治療、パーシャルデンチャーがある。

固定式補綴装置であるインプラントがもたらすメリットは大きいですが、全身疾患や口腔内の解剖学的条件が適していない場合、経済的背景など様々な要因により、可撤式補綴であるパーシャルデンチャーを選択せざるを得ないケースは多い。

その場合、パーシャルデンチャーの構造設計をしっかりと考慮し、最大限の残存歯の保全を図れるような設計とすべきである。

患者は 68 歳女性、2020 年 8 月に左上下の動揺と不快症状を主訴に来院。歯科に対する恐怖心が強く、行こうと思っても、なかなか一步を踏み出せないということを繰り返し、歯科受診は数十年ぶりとのことで、咬合崩壊を来していた。

このような患者に対して、下顎にはインプラント治療を、上顎にはキャストパーシャルを用いて、全顎的治療を行なった。

諸先生方のご指導、ご教授を頂ければ幸いです。

本症例における利益相反はない。